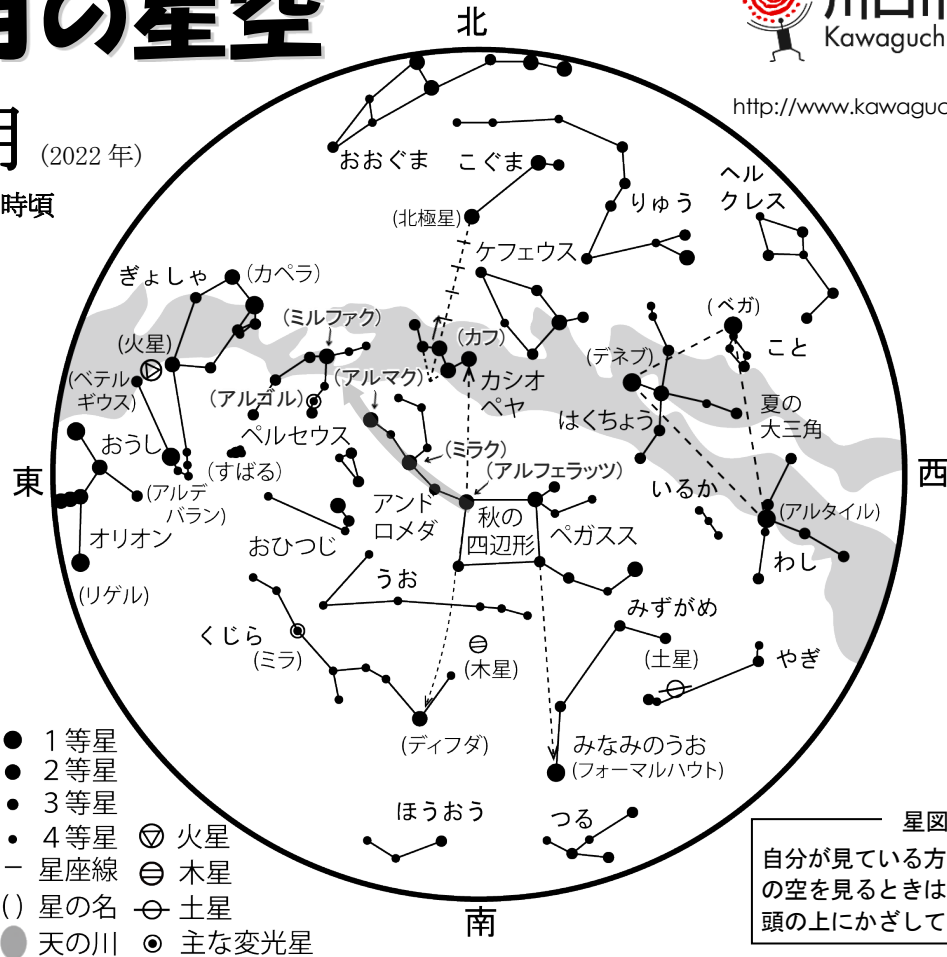


# 今月の星空

11月 (2022年)

中旬 20 時頃



星図の見方  
自分が見ている方角を下にして、(西の空を見るときは西を下にして持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ●上弦 1日・30日、○満月 8日、●下弦 16日、●新月 24日

惑星情報 火星 夜のはじめ頃 東(おうし座 -1→-2等) 木星 夜のはじめ頃 南(うお座 -3等)  
土星 夜のはじめ頃 南西(やぎ座 1等)

## ☆見つけやすい秋の星座と接近中の火星

東から北の空には明るい星が多く、そこにはギリシャ神話「エチオピア王家の物語」に登場するアンドロメダ座やペルセウス座などが見つけられます。市街地でも見える2等星をたどってみましょう。星図のとおり、秋の四辺形の「アルフェラッツ」から北東の低い方へ向かって、ゆるいカーブを描いて「ミラク」、「アルマク」が並ぶアンドロメダ座があり、その先はペルセウス座の「ミルフアク」に繋がります。そして、秋の四辺形から北へたどると、「カフ」からW形に星が並ぶカシオペア座も見つかります。

東の空には、12月1日に地球と最接近する火星が昇ってきました。11月初めは-1.2等ほどですが、12月初めには-1.9等に達します。赤い色も相まって、木星にも劣らない存在感を放ちます。

## ☆11月8日 条件の良い皆既月食&天王星食

月(満月)が地球の影に入ること、月が欠けたり、赤黒く(赤銅色)見えたりする月食が起こります。進行は右図のとおりです。今回の月食は、①観察しやすい時間帯(18時~21時)、②欠け始めから欠け終わりまで観察できる、③皆既の時間が長い(約1時間半)という好条件です。

さらに、月食の進行中に、月が天王星を隠す天王星食が起こります<sup>※1</sup>。川口市では、天王星が隠れる「潜入」は20時41分、再び現れる「出現」は21時22分の予想です。天王星は約6等と肉眼では観察が難しいため、双眼鏡や望遠鏡での観察<sup>※2</sup>がおすすめです。天王星を隠す(食べる)月が地球の影に隠される(食べられる)様子は、夜空の「食物連鎖」とも言えるでしょう。

※1 皆既月食と惑星食が同時に起こることは非常にまれで次回は2106年のこと。  
※2 天王星は見かけの大きさが小さく、望遠鏡を使用しても点状にしか見えません。  
※3 科学館では特別観測会「皆既月食」及び、特別ライブ配信(望遠鏡で撮影した画像をリアルタイムで配信)を行う予定です。

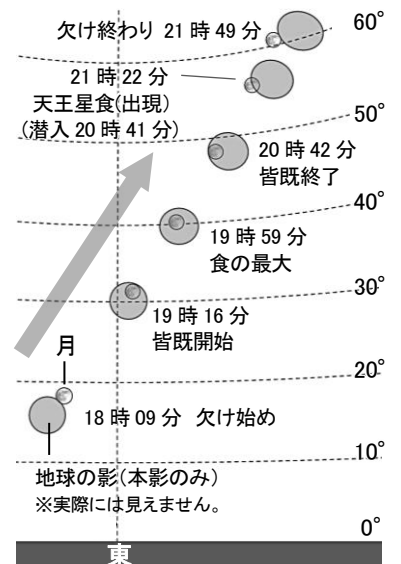


図 11月8日の月食の進行 (StellaNavigator/AstroArtsを基に作成)